教育のぼりべつ

令和6年
12月2日
No.44

発行；登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目33番地

「第17回登別市縄文どきどきまつり」

１０月５日（土）、のぼりべつ文化交流館カント・レラで、縄文文化に思いっきり触れるイベント「第17回登別縄文どきどきまつり」が開催されました。

当日は多くの家族連れが参加し、子どもたちは、「黒曜石でナイフをつくろう」「まが玉をつくろう」「火起こし体験」「弓矢体験」などさまざまな縄文体験にチャレンジしました。

「まが玉をつくろう」では、滑石（かっせき）をピカピカになるまで紙やすりで磨いて、まが玉と呼ばれる縄文時代のアクセサリーをつくりました。



「黒曜石でナイフをつくろう」



「まが玉をつくろう」



「ナイフでシカの皮は切れる？」



「縄文太鼓」



「弓矢体験」



「火起こし体験」



「縄文ハンター輪投げ」

令和６年度登別市「鬼っ子フォーラム」

１１月１５日（金）、市民会館を会場に、市内小中学校、中等教育学校、高等学校の児童会・生徒会代表が集まり、いのちの重さや人としての生き方、人との関わりについて議論する、令和6年度登別市「鬼っ子フォーラム」が開催されました。

当日は、「鬼っ子宣言 2024」と「ピンクシャツデーの実施」を発表して各学校に協力を求めたほか、代表の5校のこれまでの取組が紹介されました。

その後、「みんなが通いたくなる学校とは」をテーマとしたトークセッションや、室蘭工業大学大学院の清末愛砂教授がファシリテーターとなり、「きまりは必要か」「多様性について」をテーマに、児童生徒と大人との意見交換会が行われました。意見交換会では、大人の代表として安宅教育長と大川登別市 PTA 連合会会長が参加し、生徒たちから活発な意見が出され充実したフォーラムとなりました。

各学校ではフォーラムでの意見を参考に、「鬼っ子宣言 2024」の実現に向けて児童会・生徒会を中心に取組を進めていきます。

『鬼っ子宣言 2024』

みんなが楽しく過ごすための約束！！

○ 一人一人の個性を大切にし認め合う！

○ 互いを思いやり笑顔のあふれる学校を目指す！



意見交換会の様子



参加者の集合写真

「マンドリン演奏会」
素晴らしい演奏に感動

１０月３１日（木）、幌別西小学校で、西陵中学校区の地域教育協議会が主催する「コンパニア・デ・マンドリーナ」（15 名）によるマンドリン演奏会が開催されました。

「星に願いを」「ルージュの伝言」などアンコールを含め１０曲を演奏。演奏を聴いた３年生は、美しいマンドリンの音色に感動していました。



登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業
「帰国報告会」楽しかった思い出報告

８月８日（木）から１６日（金）までの９日間にわたり、市内中学校と明日中等教育学校の生徒９名が、登別市と友好都市協定を締結しているデンマーク王国のファボーミッドフュン市を訪問し、現地の方々と交流しました。

１０月２日(水）には、市民会館で帰国報告会が行われ、生徒たちは、学校や施設など訪問先での様子やホストファミリーとの楽しかった思い出など、多くの貴重な体験をし、初めての海外でいろいろな文化に触れられたよい機会であったことをスライドにまとめ、保護者や学校関係者等に報告しました。



ホストファミリーとの思い出も報告



思い出の一コマ

学校祭　「Power of Smile」 笑顔で楽しんだ！

市内中学校学校祭は、全校で無事に実施され、楽しい時間となりました。

鷲別中学校では、９月１３日(金)に、「Power of Smile ～ 笑顔の力で楽しもう！」をテーマとして開催しました。学校祭当日は、全校生徒で作り上げた「モザイクアート」がステージ正面に飾られ、合唱コンクールをメインに、ギター・マンドリン部の発表、有志発表などが行われました。合唱コンクールでは、１学期後半から学校祭本番当日までクラスで取り組んだ成果を発揮するため、誰もが真剣な表情で精一杯歌い上げ、会場からは多くの拍手が送られました。



３年生最後の合唱



ギター・マンドリン部の演奏

「学習発表会」幌別小学校
練習の成果を十分に発揮



１０月１９日(土)、幌別小学校体育館を会場に学習発表会が行われました。
子どもたちは、今まで学習してきた歌や器楽を中心に、この日のために協力して一生懸命練習に励み、各学年とも素晴らしい実りのある発表を披露しました。
発表後の子どもたちの表情には達成感や満足感があふれていました。



１年「みんなで　チャレンジ」
ダンスにチャレンジ



２年　「できる！～30 人であきらめないでがんばろう」
鍵盤ハーモニカで合奏



３年　「絆　～３年生の挑戦」
習字パフォーマンスに挑戦



４年　「ミュージック リサイタル」
英語の歌に挑戦



５年　「BILIEVE」
器楽合奏



６年　「証」
被告人桃太郎の審判は？